

事業名	西武池袋線連続立体交差事業（延伸） （石神井公園駅付近）	事業区分	連続立体交差事業	事業主体	東京都
-----	---------------------------------	------	----------	------	-----

起終点	自：東京都練馬区高野台 至：東京都練馬区東大泉	延長	2 km
-----	----------------------------	----	------

事業概要
 本事業は昭和45年に事業採択された西武池袋線連続立体交差事業の区間を延伸し、石神井公園駅付近（2 km）を連続立体交差化し、踏切9箇所（うちボトルネック踏切8箇所）を除去するとともに道路交通の円滑化を図るものである。

事業の目的、必要性
 連続立体交差事業にあわせ、石神井公園付近の駅前広場や都市計画道路等の都市基盤を整備し、渋滞の解消と事故の防止を図るとともに、地区計画や周辺のまちづくりを進め、地域の活性化・一体化を図るものである。

全体事業費	約 430億円（延伸区間分）	踏切交通遮断量	42万台時/日
費用便益比 （延伸区間分）	B/C 2.5	総費用	172億円 事業費：172億円 維持管理費：0億円
		総便益	429億円 走行時間短縮便益：387億円 走行費用減少便益：42億円 踏切事故減少便益：0億円
		基準年	平成15年

- 事業の効果等**
- ・ 交通円滑化の推進（現道の踏切除却や都市計画道路などの都市基盤整備による交通円滑化）
 - ・ 中心市街地の活性化（石神井公園駅前広場整備などの中心市街地内での都市基盤の整備）
 - ・ 鉄道による地域分断の解消（鉄道により一体的発展が阻害されている地区を解消）
 - ・ 鉄道の利便性向上（連続立体交差事業と併せて石神井公園以東の複々線化が行われ、通勤時等の混雑が緩和）

関係する地方公共団体等の意見
 本事業は「東京構想2000」で位置付けられており、東京都と練馬区より早期実施の要望を受けている。

